

令和2年度（2020年度）

広域サイクルルート連携事業

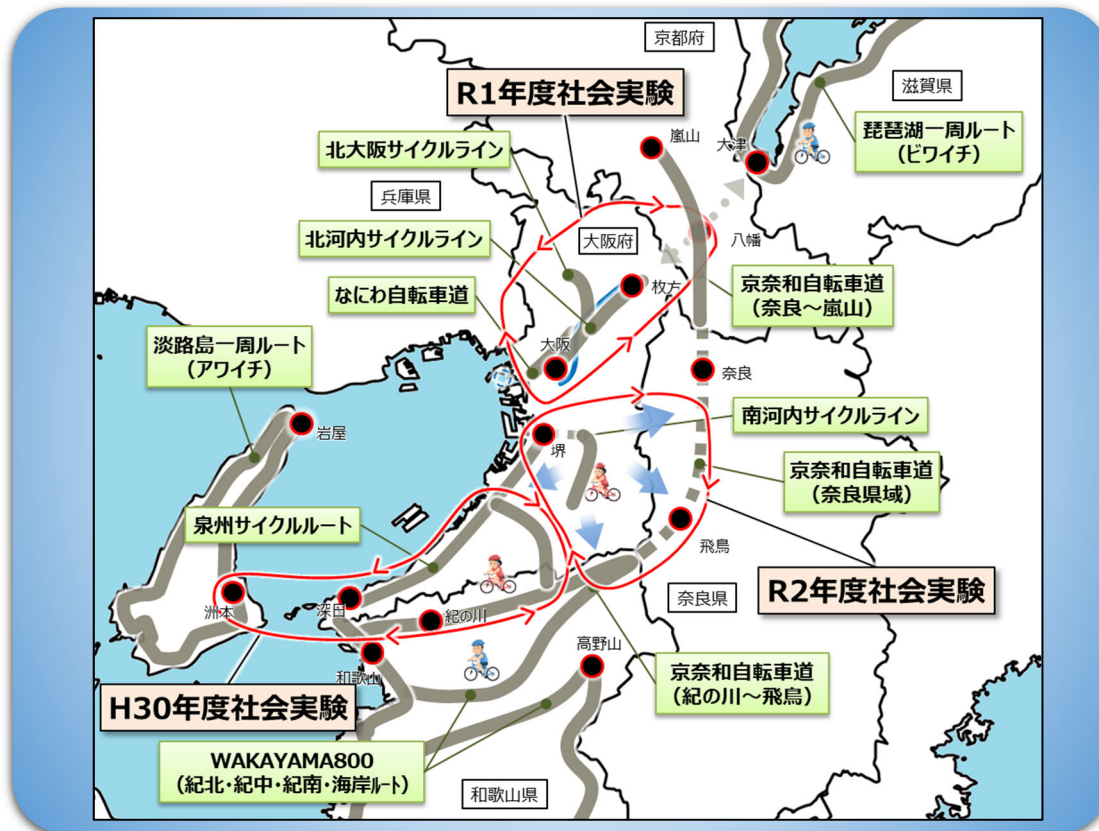
社会実験の結果概要

広域サイクルルート連携事業とは

【概要】

「グランドデザイン・大阪都市圏」の広域連携型都市構造の考えをもとに、地域が持つストックやポテンシャルを最大限に活かし、府県域にとらわれず広域的に連携させることで、圧倒的な魅力を備えた都市空間を創造していく。

関西各地域で取組みが進められている「泉州サイクルルート」、「紀の川自転車道」、「淡路島一周（アワイチ）」、「琵琶湖一周（ビワイチ）」、さらに、「京奈和自転車道」等の各ルートを生かして、大阪湾をはじめ、関西一円の豊かな自然や世界遺産などの歴史・文化資源等を、誰もが楽しめるようにすることにより地域の魅力を高め、自転車を活用した広域連携による賑わい創出など地域活性化を図り、まちづくりにつなげる。



関西一円の
サイクルルートの形成



自転車を活用した
広域連携によるまちづくり

令和2年度 広域サイクルルート連携事業（社会実験）の概要

大和川を軸として、バイエリアから大阪東部、奈良エリアを広域連携させ、自転車を活用したまちづくりやにぎわい創出に向けて、9月～12月の3箇月間、社会実験を行いました。



②府民に対する自転車活用によるまちづくりの機運の醸成

地域団体、市町村などが実施する自転車イベントとの連携による、府民全体への自転車を活用したまちづくりの機運の醸成。



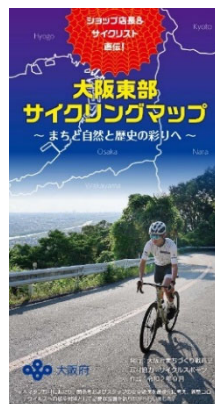
信貴山サイクルロゲイニングRALLY2020の様子

③アンケート調査によるニーズ把握と交通量調査

- 自転車交通量調査（11月～12月）
泉佐野岩出線、岬加太港線、堺阪南線、国道480号、京都守口線、八尾茨木線、住吉八尾線、国道166号の8箇所で実施
- アンケート調査（9月～12月）
回答数：204件（紙：21件、WEB：183件）
実施内容：走行環境、安全性、立ち寄り場所、費用等のニーズ把握・周遊状況等

①新たなサイクルルートの提案や情報発信

- 新たなサイクルルートの設定
⇒ 7ルート
- サイクリングマップの作成・配布
⇒ 計3万部
配布場所：府民情報プラザ、サイクルショップ等
- サイクルステーションの設置
⇒ 168箇所（府内）



大阪東部サイクリングマップ

④民間や行政間連携の実施

- 連携会議等を通して、近畿の府県、政令市、府内の市町、観光関係の地域・民間団体などの情報交換や交流が深まった。（R2年8月、R3年3月）
- 民間企業に寄付や協賛を求めることを通じて、民間企業と連携した、自転車活用のまちづくりの推進の協力の意識を高めることにつながった。
（企業版ふるさと納税：5社・230万円、企業協賛：11社）

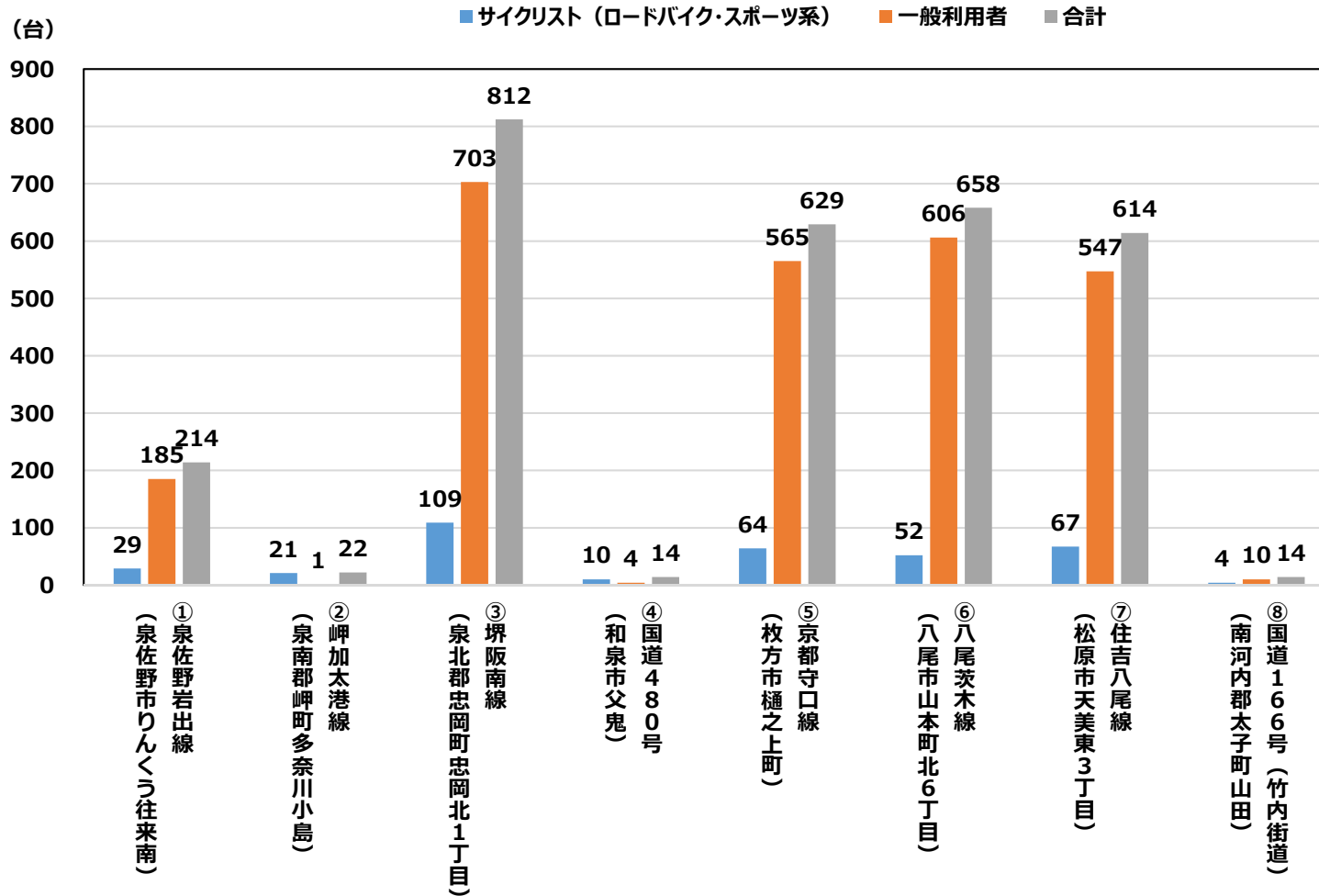


自転車交通量調査

調査路線：泉佐野岩出線、岬加太港線、堺阪南線、国道480号、京都守口線、八尾茨木線、住吉八尾線、国道166号
調査時期：令和2年11月～12月の平日
調査内容：自転車種別、方向別、電動あり・なし別
調査時間：午前9時～午後5時までの8時間交通量



自転車交通量調査



電動比率 (%)	11.2	0.0	20.2	35.7	25.2	26.4	21.3	50.0
サイクリスト比率 (%)	13.5	95.5	13.4	71.4	10.2	7.9	21.3	28.6
自動車交通量 (台/12h)	24,472	1,482	10,794	478	9,309	7,056	13,345	4,164
大型自動車数 (台/12h)	4,644	89	756	58	1,358	927	2,394	389

- 自転車交通量の多い地点ほど自動車交通量も多い傾向がある。
- サイクリスト比率が高い調査地点では自動車交通量は少ない。
- 沿道住民の利用が多いところでは、沿道の土地利用（工場や商店、住宅など）によるトリップの特性が時間帯に影響しているとみられる。（詳細データより）
- 電動比率は、道路の物理的特性や自動車交通の特性とあまり関係がなく、むしろ坂などの地形的要因の影響が大きいとみられる。

アンケート調査結果

アンケート用紙（表面）

「広域サイクルルート連携事業」社会実験アンケート

【あなたの状況についてお聞かせください】

※差し支えない範囲でご記入ください。

1. 直近のサイクリングをした日	令和 年()月()日
2. 年齢、性別	年齢()歳、性別[男性 ・ 女性 ・ 無回答]
3. どこから来ましたか(自宅)	()都・道・府・県()市・町()区

【社会実験の取組みについてお聞かせください】

※差し支えない範囲でご記入ください。

大阪府では、広域サイクルルート連携事業として、今年度は大和川を軸にペイエリアから奈良方面等へつなぐサイクルルートの形成やまちの周遊魅力の向上に向けた社会実験を、9月18日(金曜日)から12月17日(木曜日)まで行います。その一環として、大阪東部サイクリングマップの作成や交通量調査などを行います。

1. 上記の社会実験をしていることは何から知りましたか。
①府政だより(大阪府の広報紙) ②大阪府のHP・SNS ③新聞 ④テレビ ⑤雑誌 ⑥その他のHPやSNS(詳しく:)
2. 社会実験を実施することについて、どう思われますか。
①もっと積極的に進めた方がよい ②現状のとおりでよい ③特に進める必要を感じない ④その他()
3. 大阪東部サイクリングマップについてどう思われますか。(サイクリングマップはPDFデータでWEB閲覧可)
①大阪の他の地域のマップをもっと作成すべき。 ②マップ(紙媒体)は使いにくいので、WEB上のルートマップだけでよい。 ③マップとWEBの双方があればよい。 ④特に新たな作成は不要。 ⑤その他()

【社会実験の取組みについてお聞かせください】

※差し支えない範囲でご記入ください。

1. サイクリングに使用した自転車について教えてください
・自転車の所有者 ①自分のもの ②知人のもの ③レンタサイクル ④その他() ・自転車のタイプ ①ロードバイク ②クロスバイク ③MTB ④シティサイクル ⑤その他() ・電動アシストの有無 ①アシスト有り ②アシスト無し
2. 今日は何人で来られましたか。2名以上の場合どのようなグループですか
()人、多い場合は大体の人数で結構です ①家族 ②職場 ③自転車サークル ④自転車ショップのイベント ⑤その他()
3. サイクリングのスタートとゴール地点を教えてください。また、今回の走行は約何 km ですか
スタート地点() ⇒ ゴール地点() 約()km (回答例: 自宅、〇〇駅、道の駅〇〇など)
4. スタートが自宅以外の方にお聞かせください。スタート地点までどんな交通手段で来られましたか？
①鉄道(輪行・サイクルレイン) ②船(輪行・サイクルシップ) ③自家用車 ④その他()
5. 走行ルートは、「大阪東部サイクリングマップ」で紹介されたお勧めのうち、どのルートですか？
①ぶどう坂&十三峠のザ・定番コース ②グリーンロードから金剛山地を超えるハードライド ③大和川ゆったり河川敷サイクリング ④古代から続く「歴史の道」サイクリング ⑤奈良の川沿いサイクリング ⑥大阪市街地の史跡発見ボタリング ⑦新田ペイエリア巡り ⑧それ以外()
6. 今回サイクリングしたルートで、a.立ち寄りスポットや見所の評価(○・×)、b.通行環境の評価(○・×)、c.印象的な景観、d.立ち寄り箇所数とe.ルート上での使用金額、f.気に入った上位2箇所を教えてください。
a.立ち寄りスポットや見所の評価(良かった点に○、良くなかった点に×) 景観()・イベント()・観光地()・グルメ()・その他() (×) b.通行環境の評価(良かった点に○、良くなかった点に×) 通行空間()・路面状態()・案内サイン()・連続走行性・その他() (×) c.印象的な景観①()②()③()
d.立ち寄り箇所数 e.使用金額 f.気に入った上位2箇所と立ち寄り目的
合計 箇所 合計 円 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

※地点名は記憶にある範囲で結構です。目的は観・観光、食・食事、ト・トレ、休・休憩、修・修理です。利用額はおおよその金額です。
※いい写真が撮影できたら、社会実験 SNS をフォローのうえ「#広域サイクル社会実験」で撮影箇所が分かるコメントを添えて写真をアップしたければ、大阪府のHPや社会実験の報告資料に活用させていただきます

裏面に続きます

アンケート用紙（裏面）

【あなたの日ごろのサイクリングの状況についてお聞かせください】

1. 年間のサイクリング回数(通勤や通学など日常移動の回数は除く)	()回
2. 自宅からスタート地点までの移動可能距離(行ってもよい距離)	()km
3. 自宅からスタート地点までの選択してもよい交通手段 該当するものを○で囲んでください(複数回答可)	
①鉄道(輪行) ②飛行機(携行) ③積載可能な自家用車 ④宅配 ⑤フェリー・船舶 ⑥可能な限りすべて ⑦その他()	
4. 一日の走行可能距離	()km
5. サイクリングの日程 該当するものを○で囲んでください(複数回答可)	
①日帰り ②一泊二日 ③二泊三日 ④三泊以上 ⑤その他()	
6. サイクリングの情報をHP、SNS(ツイッター、インスタグラム等)から情報発信することがありますが 該当するものを○で囲んでください(複数回答可)	
サイクリングの機会に対して ①毎回発信する ②2~3回に1回程度発信する ③発信したい情報があるときは行う ④ほとんど発信しない ⑤その他()	

【サイクルルートではどのようなものを重視しますか】 該当するものを○で囲んでください(複数回答可)

1. コースで重視する点(主に道路の状況)	①走行空間の余裕等の存在 ②危険箇所等の不在 ③景観、路面状況、線形がよい等の快適性 ④信号機、駐車が少ないこと等による迅速性 ⑤長い距離、大きい高低差、きつい勾配 ⑥沿道サービスの質 ⑦自動車走行量 ⑧その他()
2. ルート標示で重視する点	①路面標示 ②行先案内標識 ③交通安全注意標識④クルマ側に対する自転車配慮要請の標識 ⑤デザイン ⑥連続性 ⑦わかりやすさ ⑧その他()
3. スタート地点等で重視する点	①駐車場 ②ロッカー・更衣室 ③シャワ ④手荷物預かり ⑤自転車の組立て等のスペース ⑥メンテナンススペース・工具 ⑦土産や地元産物 ⑧その他()
4. 沿道サービスで重視する点	①観光スポット ②休憩所 ③売店 ④飲食店の質 ⑤飲食店の数 ⑥飲食店の選択幅 ⑦飲料の補給(自販機等) ⑧土産や地元産物 ⑨駐輪・ラック施設 ⑩自転車のメンテナンス ⑪サイクリストへの優待・割引 ⑫宿泊場所の質 ⑬宿泊施設の料金 ⑭宿泊施設の選択幅 ⑮その他()
5. サイクリングルートに求めるもの	①歴史 ②自然 ③農産物 ④景観・眺望 ⑤体力・健康増進 ⑥グルメ ⑦にぎわい ⑧日陰・並木道がある ⑨沿道サービスのよさ ⑩ルート相互の連続 ⑪その他()
6. 魅力的なルート	①ビワイチ ②アワイチ ③しまなみ ④京奈和 ⑤南河内サイクルライン ⑥その他()

【その他】 該当するものを○で囲んでください(複数回答可)

1. シェアサイクルを拡大するには何が必要と思われるか	①人が集まる場所(駅、店舗等)のホトの増設 ②低額な料金設定 ③会員登録・加入などの容易さ ④スポーツタイプの自転車のレンタル等種類の多さ ⑤シェアサイクルの必要性を感じない ⑥その他()
2. e-bike(電動アシスト自転車)でのサイクリングについて	①便利なのもっと拡大した方がよい ②自分は興味がないが拡大してもかまわない ③自分は興味がないし拡大も必要ない ④その他()
○ その他サイクルツーリズム、サイクリング等に関するご意見、ご要望	

プレゼント応募の必要事項 (プレゼントについては別紙参照)

氏名(ふりがな)	住所	連絡先(e-mailまたは電話番号)	希望商品
----------	----	--------------------	------

※こちらの必要事項については、商品当選の際の連絡、発送にのみ使用させていただきます
アンケートの送付先: 〒559-8555 大阪市住之江区南港北 1-14-16 咲洲庁舎(さきしまコスモタワー)31 階
大阪府住ままちづくり戦略室都市空間創造課広域まちづくりグループ 宛て

■WEBアンケートも行っています(URL: <https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/npu:/?etuid=2020090011>)

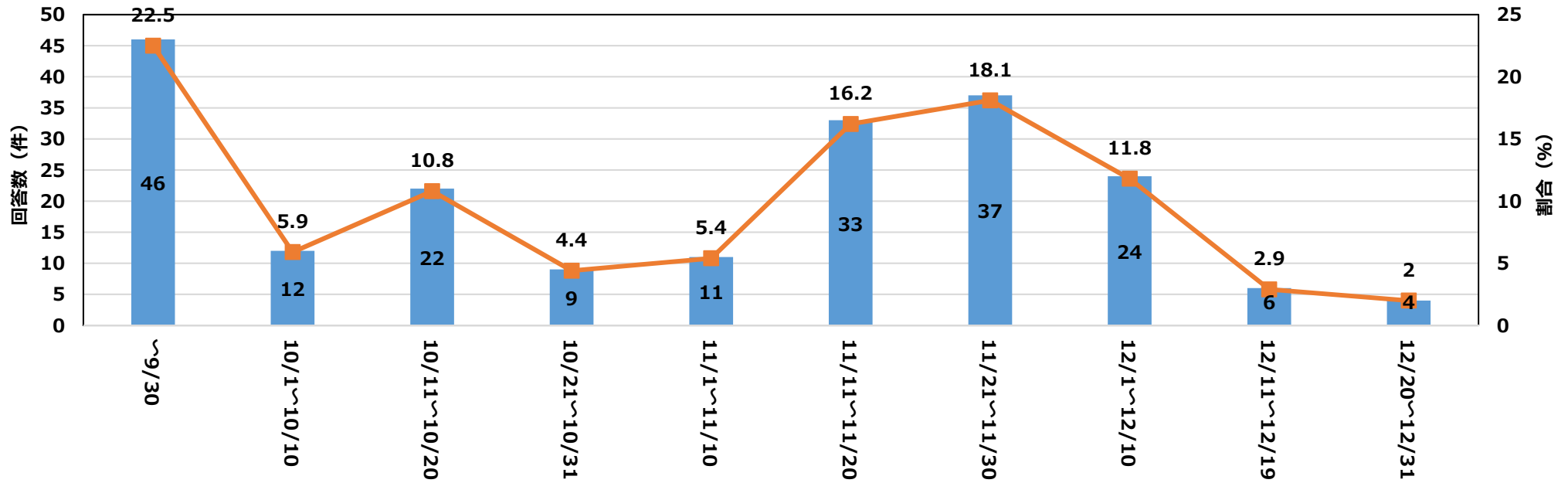


アンケートの詳細はこちら: <http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/36203/00367376/anke-to.pdf>

アンケート調査結果 ～回答者の状況～

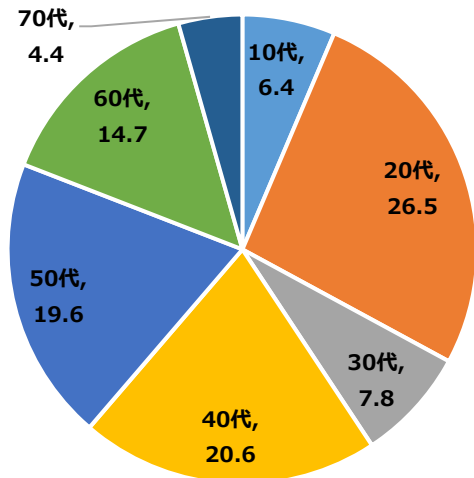
サイクリングの実施日

■ 回答数 ■ 割合



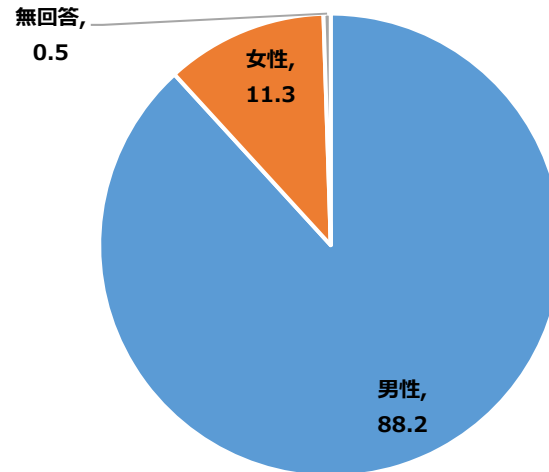
年代別

(単位：%)



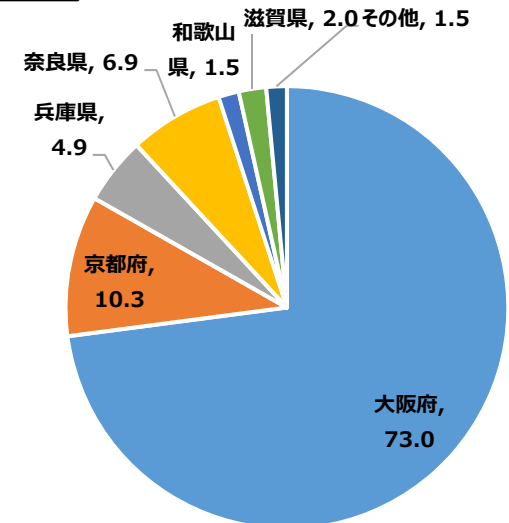
性別

(単位：%)



居住地

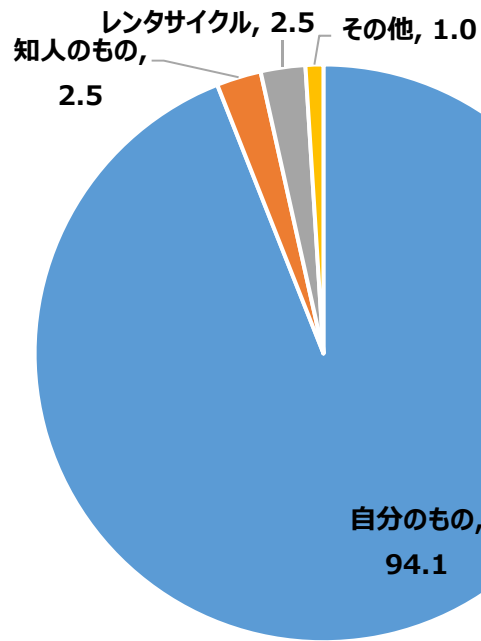
(単位：%)



アンケート調査結果 ～回答者の状況～

自転車の所有者

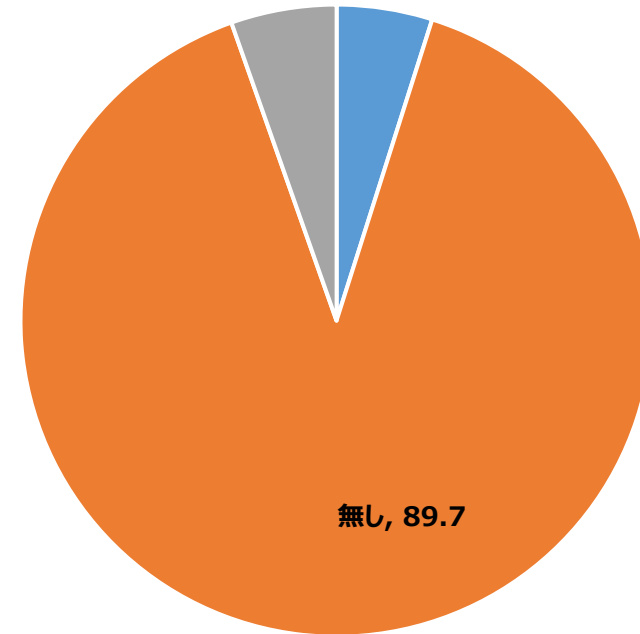
(単位：%)



電動アシストの有無

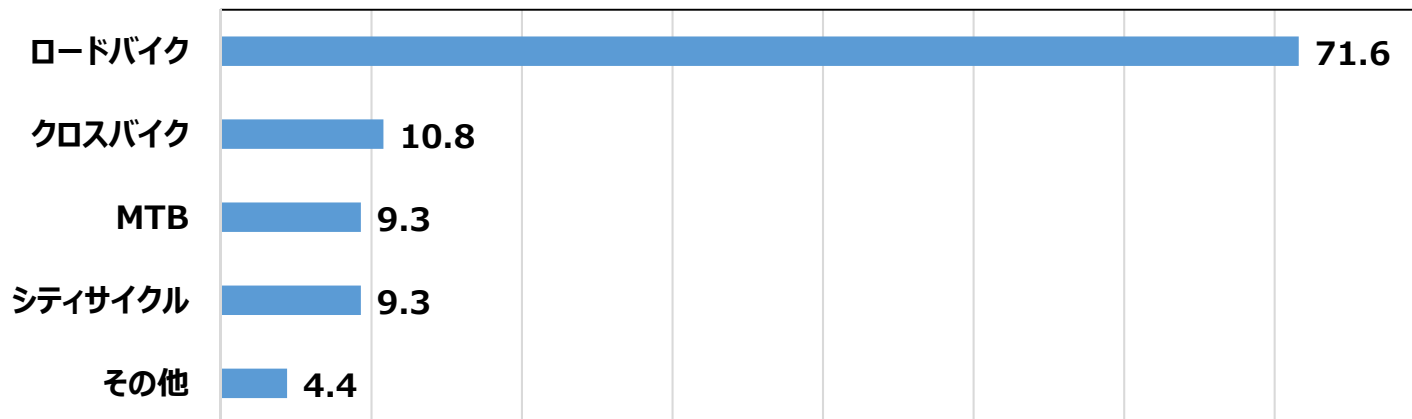
(単位：%)

無回答, 5.4 有り, 4.9



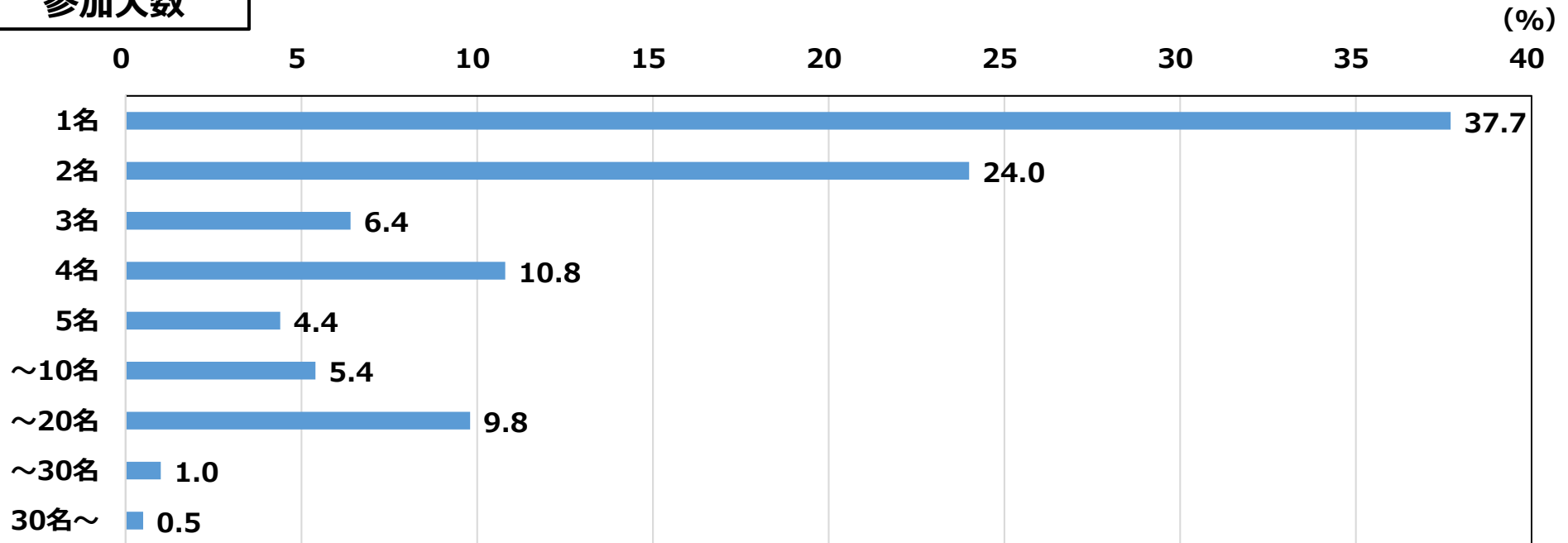
自転車のタイプ

0 10 20 30 40 50 60 70 80 (%)

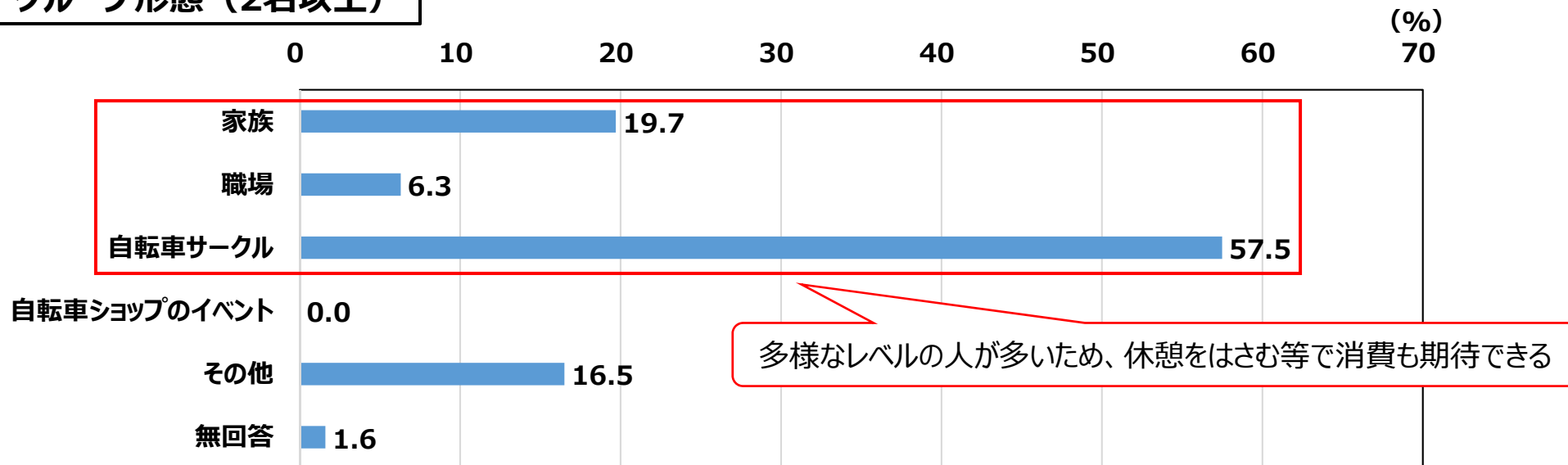


アンケート調査結果 ～回答者の状況～

参加人数

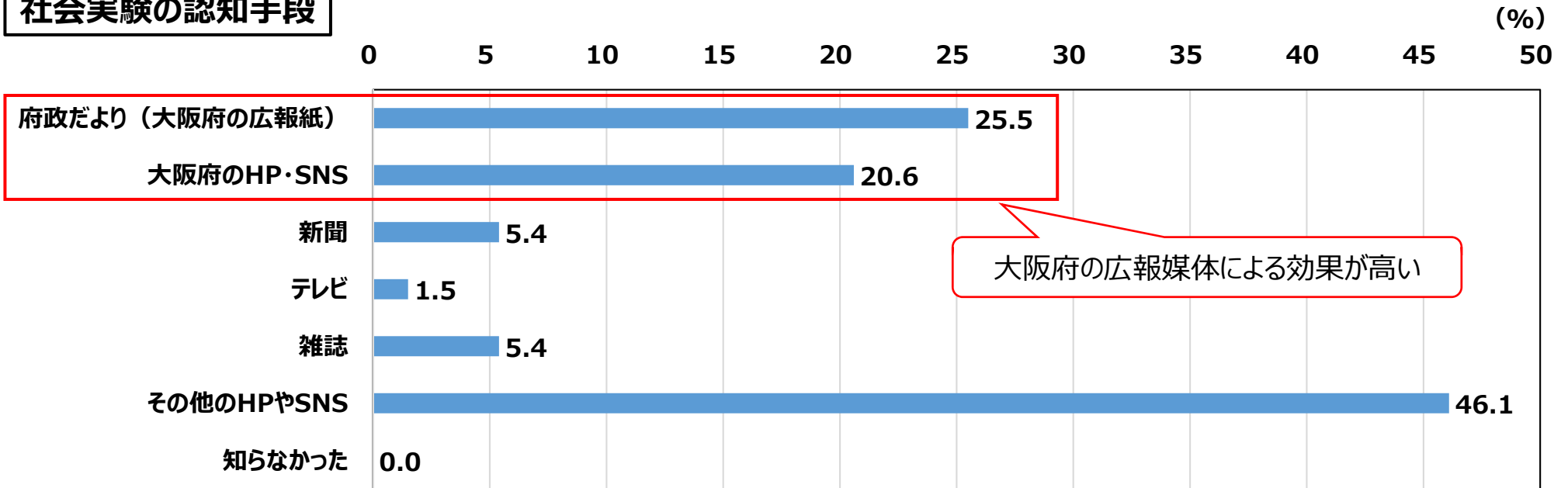


グループ形態 (2名以上)



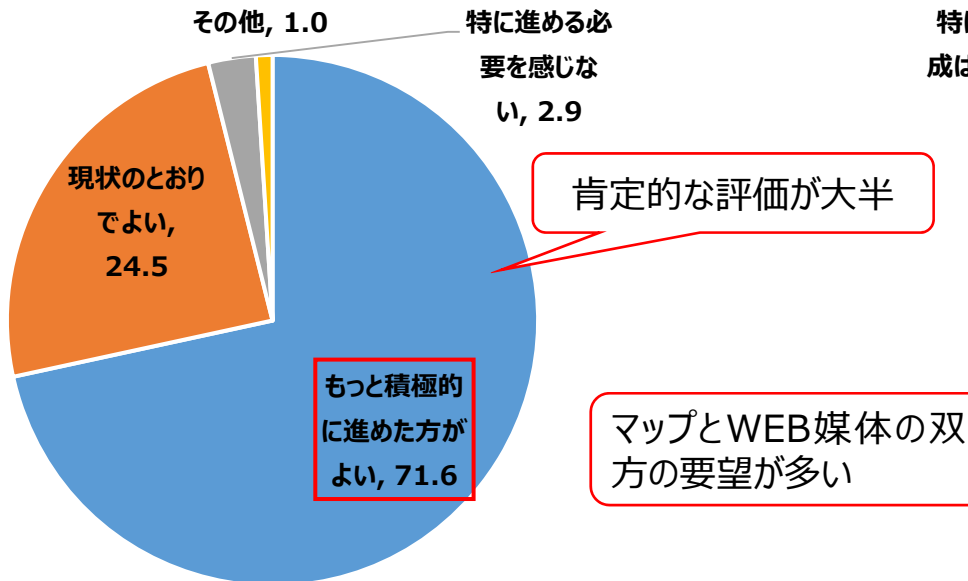
アンケート調査結果 ～社会実験の評価～

社会実験の認知手段



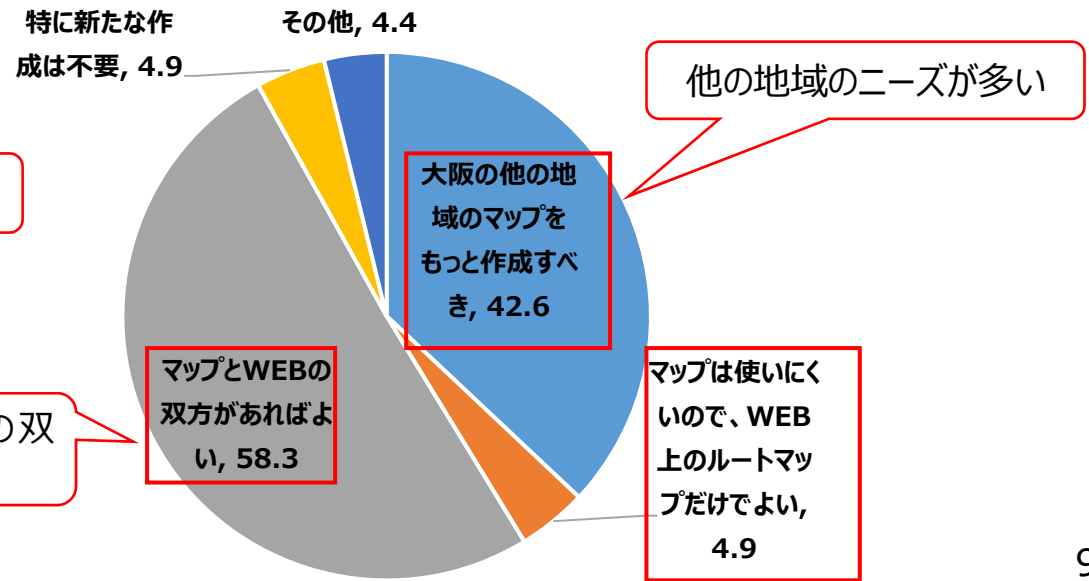
社会実験の評価

(単位：%)



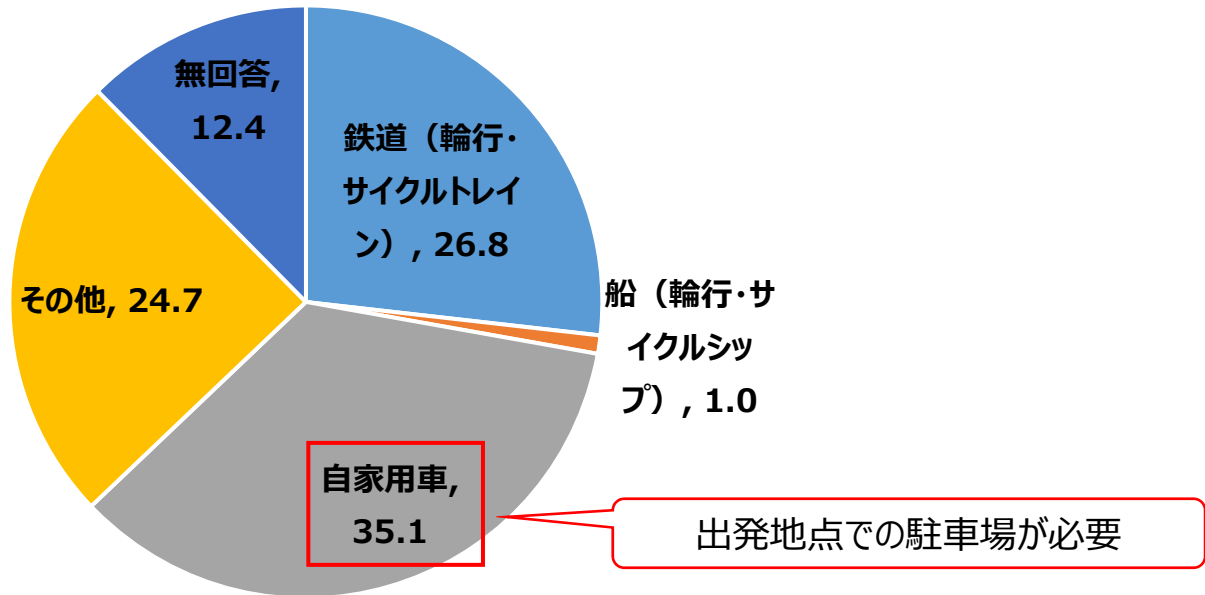
大阪東部サイクリングマップの評価

(単位：%)

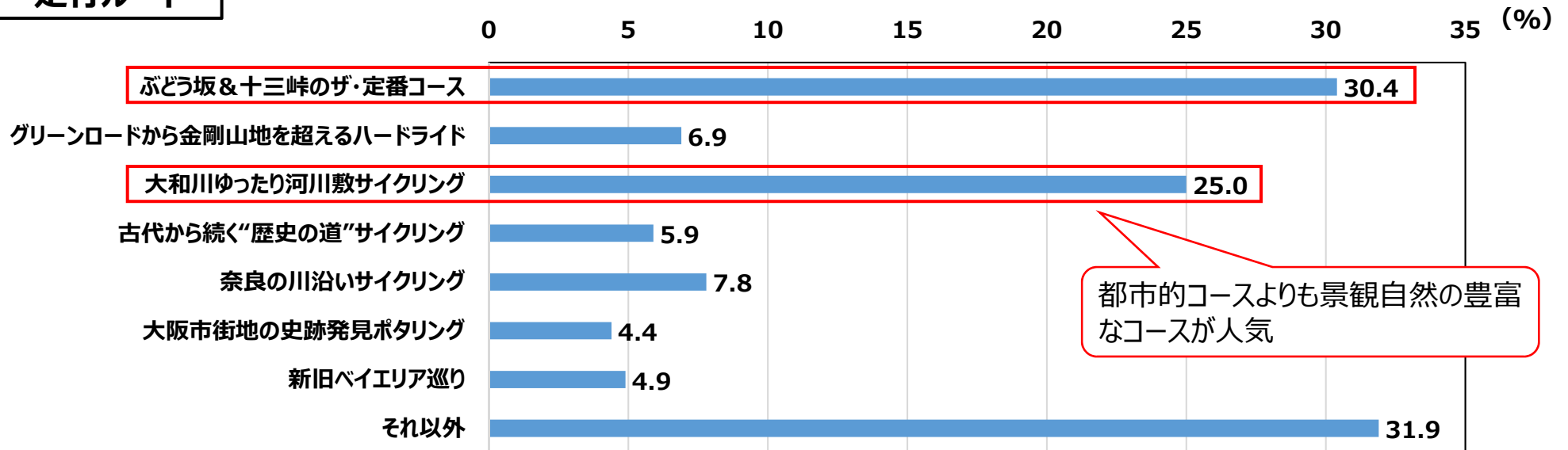


アンケート調査結果 ～社会実験の評価～

スタート地点までの交通手段 (単位：%)



走行ルート



アンケート調査結果 ～社会実験の評価～

スタート地点名	回答数	構成比 (%)
自宅	107	52.5
石川河川公園・河川敷	15	7.4
大学	10	4.9
榎原神宮	8	3.9
なかもず駅	7	3.4
その他	53	26.0
無回答	4	2.0
合計	204	100.0

ゴール地点名	回答数	構成比 (%)
自宅	45	22.1
石川河川公園・河川敷	18	8.8
榎原神宮	10	4.9
のどか村	7	3.4
なかもず駅	7	3.4
その他	100	49.0
無回答	17	8.3
合計	204	100.0

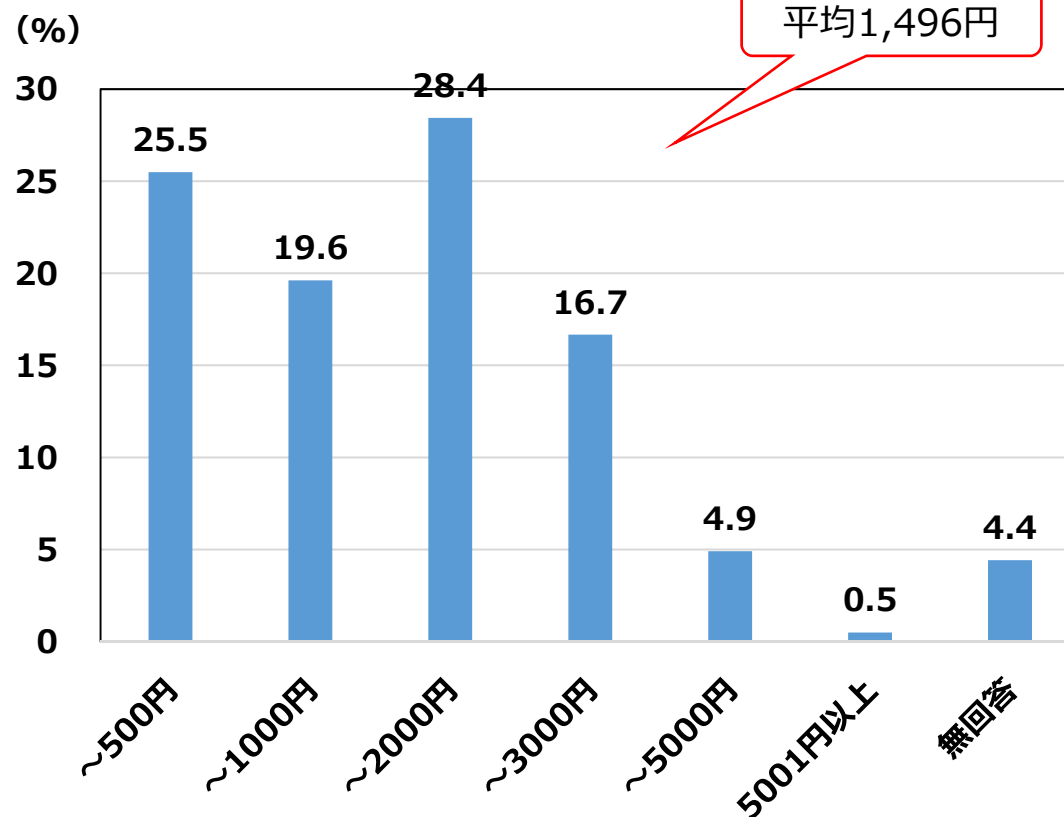
走行距離の範囲	回答数	構成比 (%)
10km未満	4	2.0
10km以上20km未満	12	5.9
20km以上30km未満	14	6.9
30km以上40km未満	38	18.6
40km以上50km未満	26	12.7
50km以上70km未満	54	26.5
70km以上100km未満	36	17.6
100km以上150km未満	14	6.9
150km以上200km未満	5	2.5
200km以上250km未満	0	0.0
250km以上300km未満	1	0.5
301km以上	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	204	100.0
平均	55km	

アンケート調査結果 ～社会実験の評価～

立ち寄り箇所数

選択肢	回答数	構成比 (%)
立ち寄りなし	10	4.9
1箇所	37	18.1
2箇所	36	17.6
3箇所	24	11.8
4箇所	11	5.4
5箇所	26	12.7
～10箇所	22	10.8
～20箇所	8	3.9
～30箇所	12	5.9
30箇所以上	5	2.5
無回答	13	6.4
合計	204	100.0
平均	5.8箇所	

使用金額



グループでサイクリングをすると、初級者にペースを合わせることとなり、全体としてゆっくりと観光やグルメを楽しむ傾向があることから、使用金額の増加につながると考えられる。

人数別とグループ別の使用金額

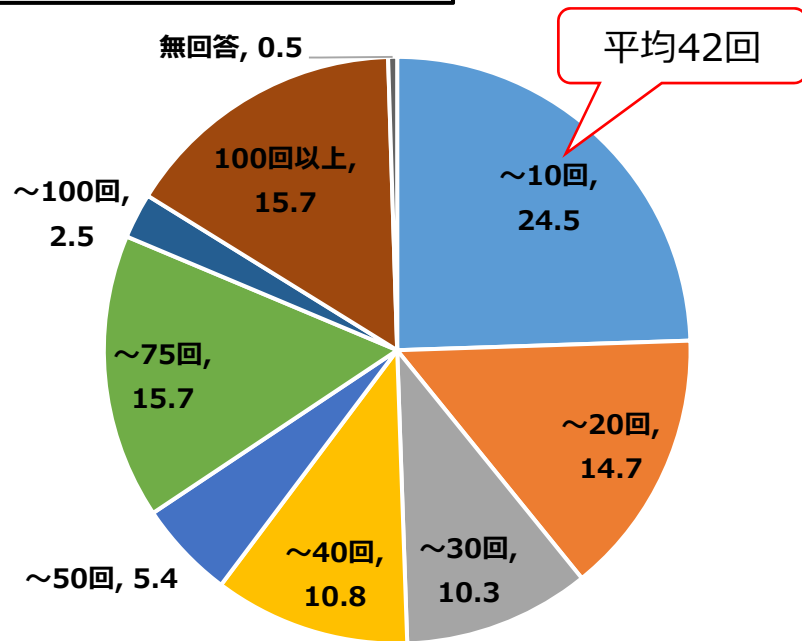
	1人	2人以上	合計
平均額	1,386円	1,563円	1,496円
回答数	76	119	195

	家族	職場	サークル	全体
平均額	1,721円	1,590円	1,532円	1,496円
回答数	26	9	68	195

アンケート調査結果 ～日ごろのサイクリングの状況～

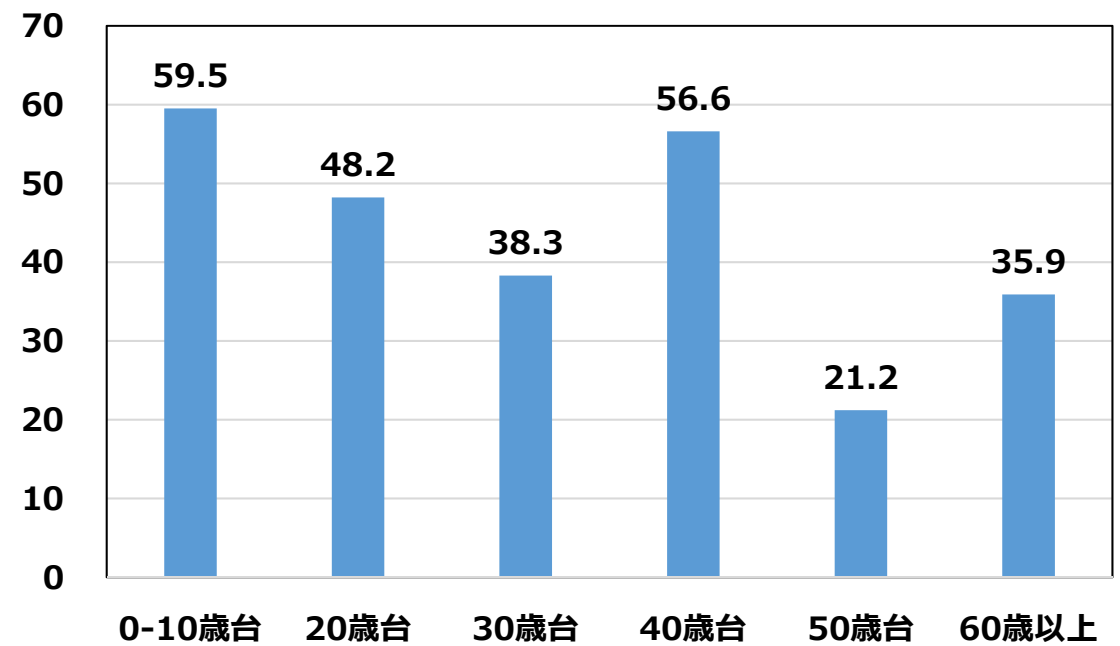
年間のサイクリング回数

(単位：%)



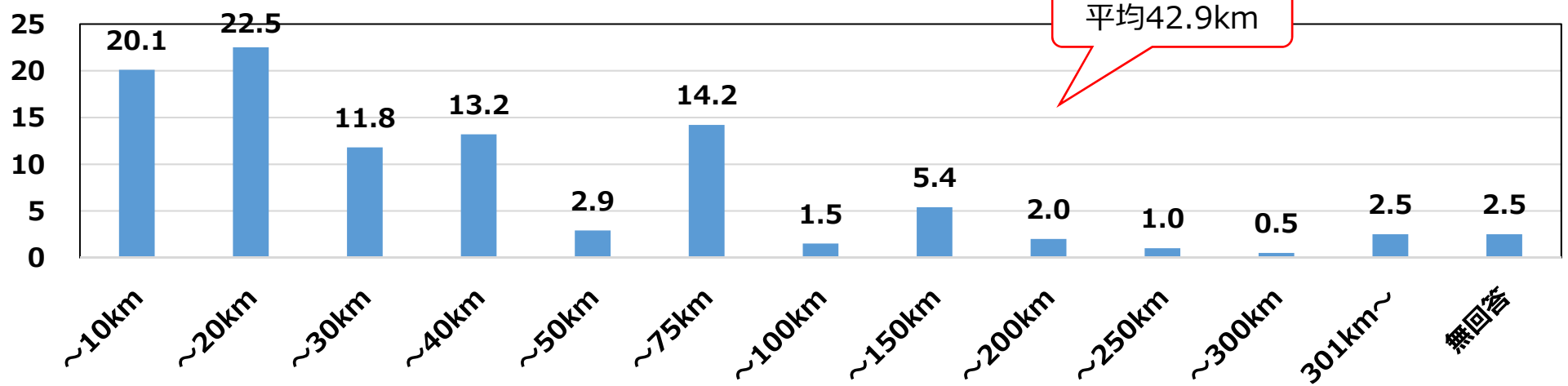
年間のサイクリング回数 (年齢別)

(回)



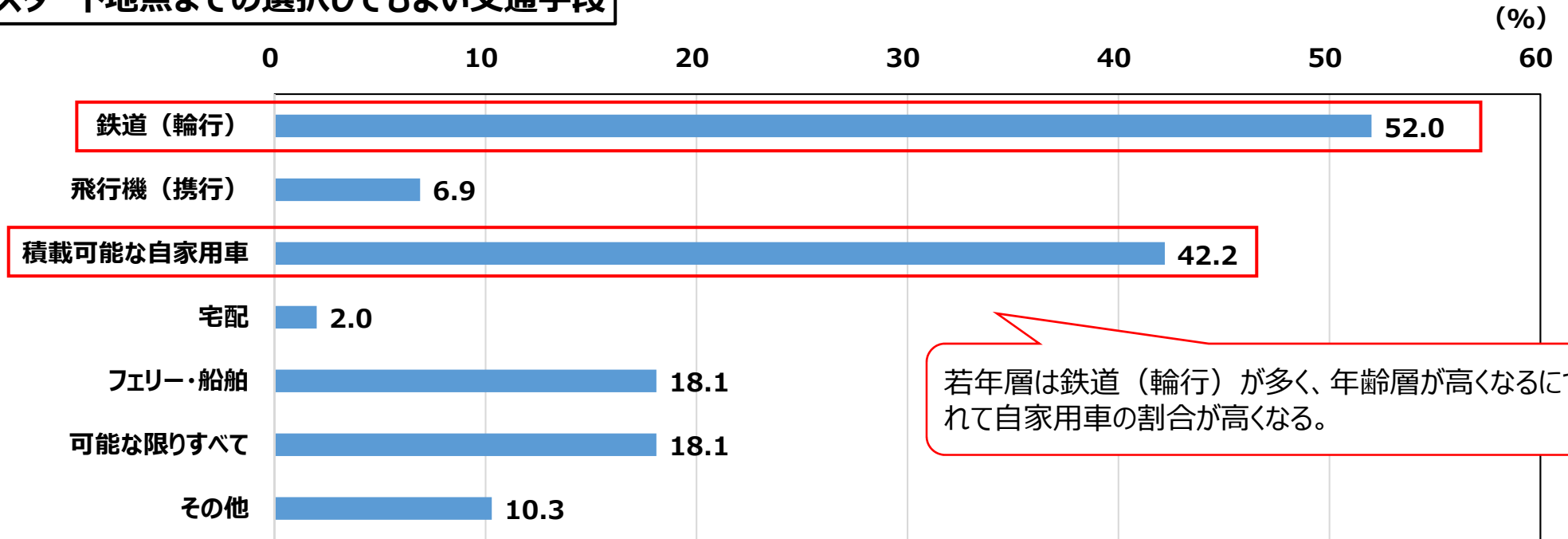
自宅からスタート地点までの移動可能距離 (誘致距離)

(%)

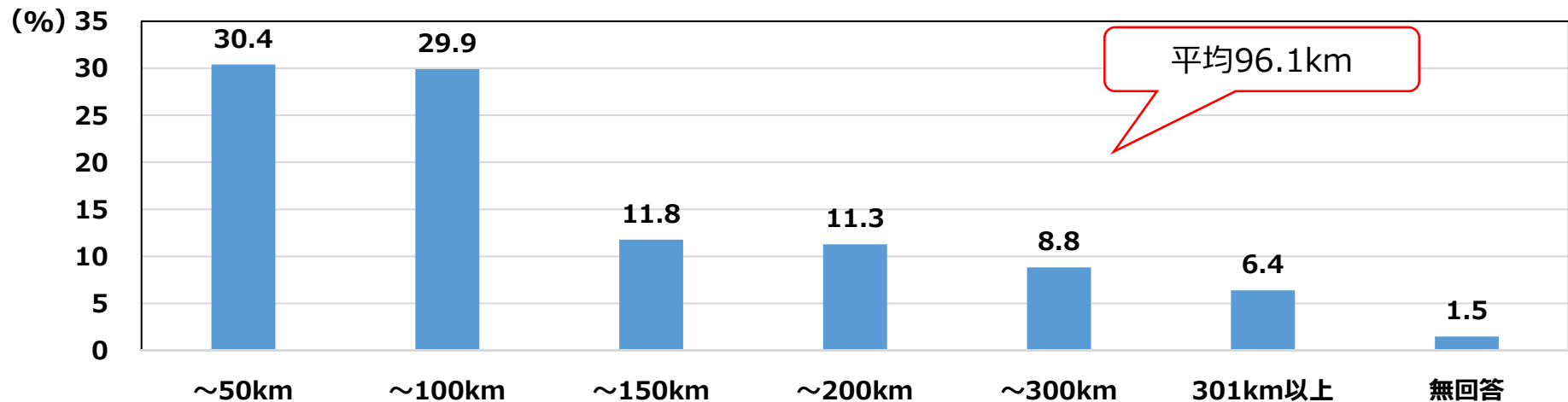


アンケート調査結果 ～日ごろのサイクリングの状況～

スタート地点までの選択してもよい交通手段

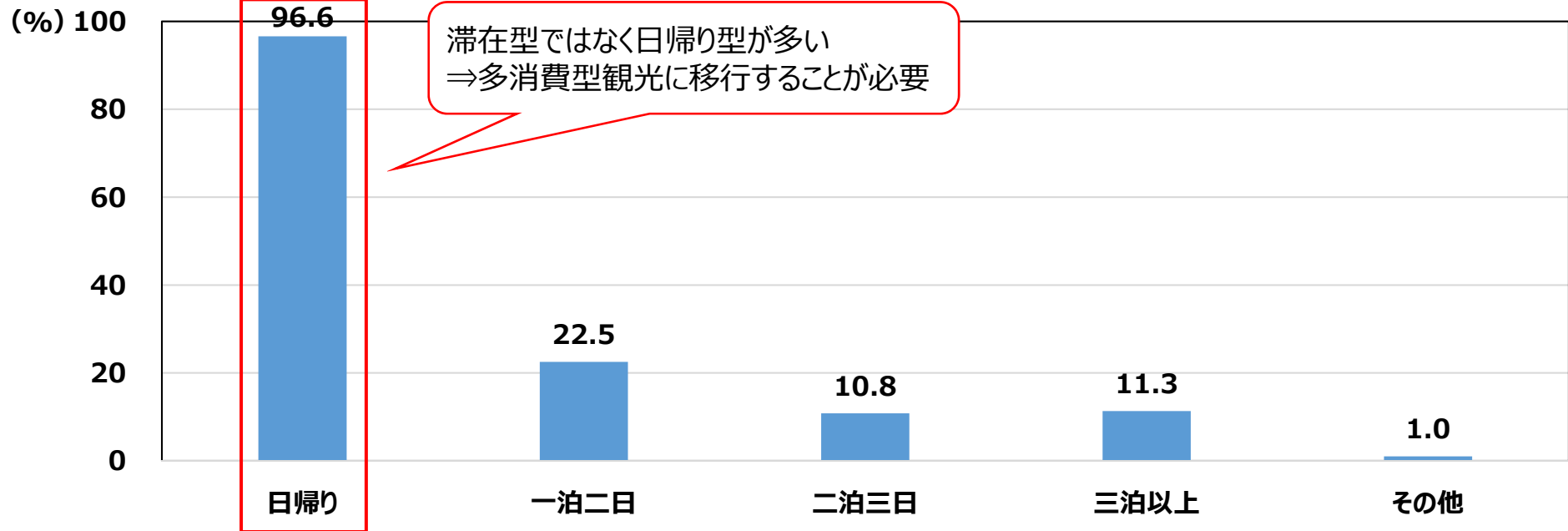


一日の走行可能距離

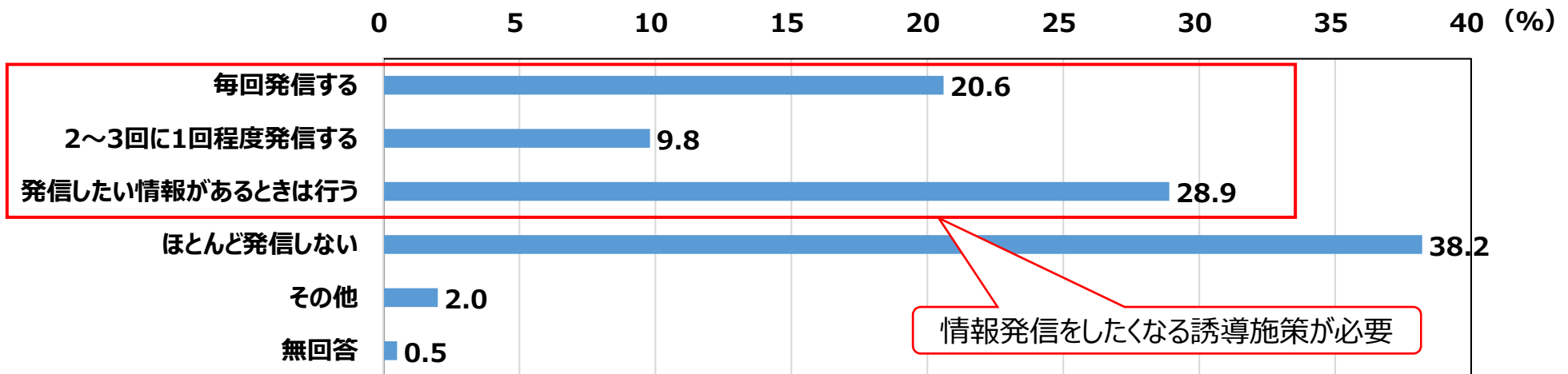


アンケート調査結果 ～日ごろのサイクリングの状況～

日ごろのサイクリングのパターン

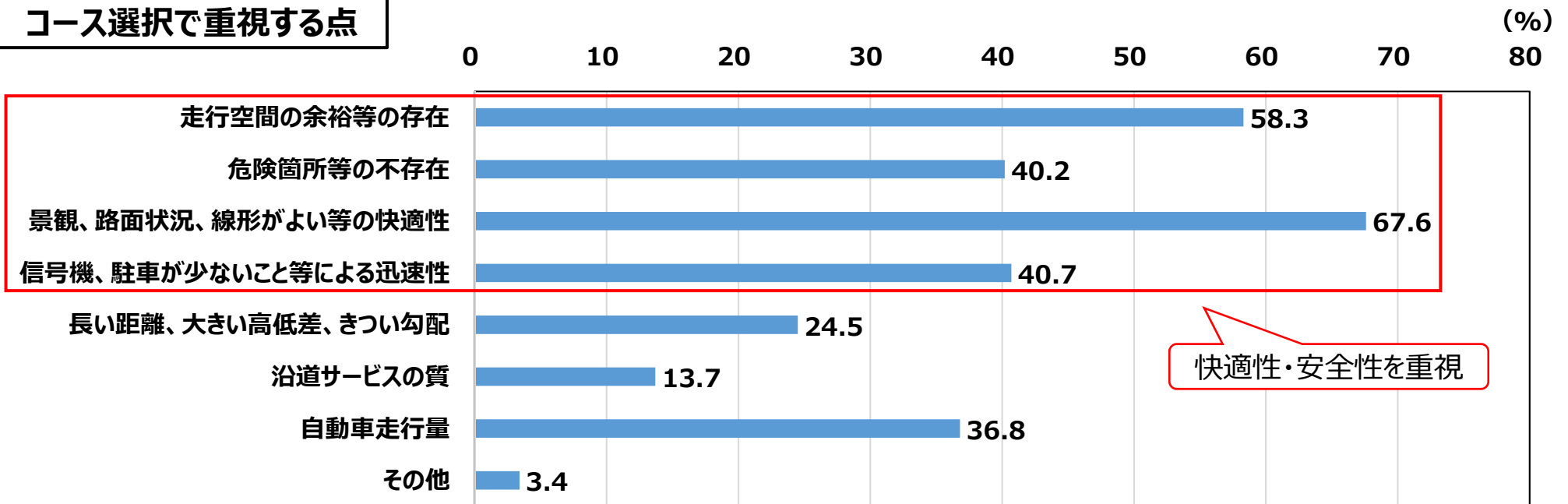


サイクリング情報の発信状況

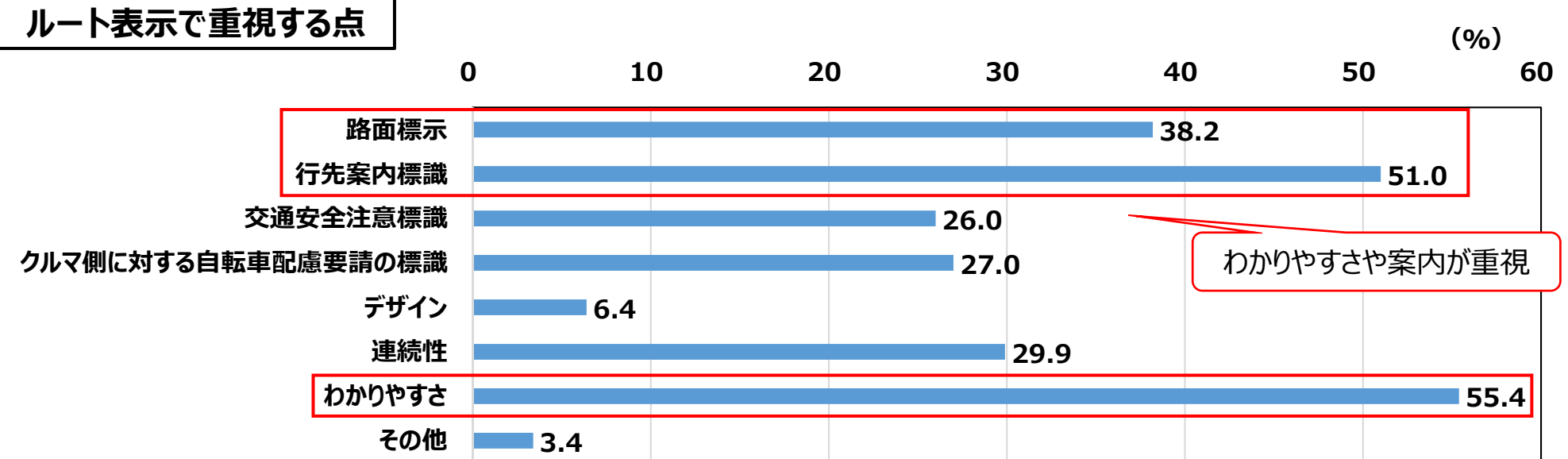


アンケート調査結果 ～サイクリングで重視すること～

コース選択で重視する点

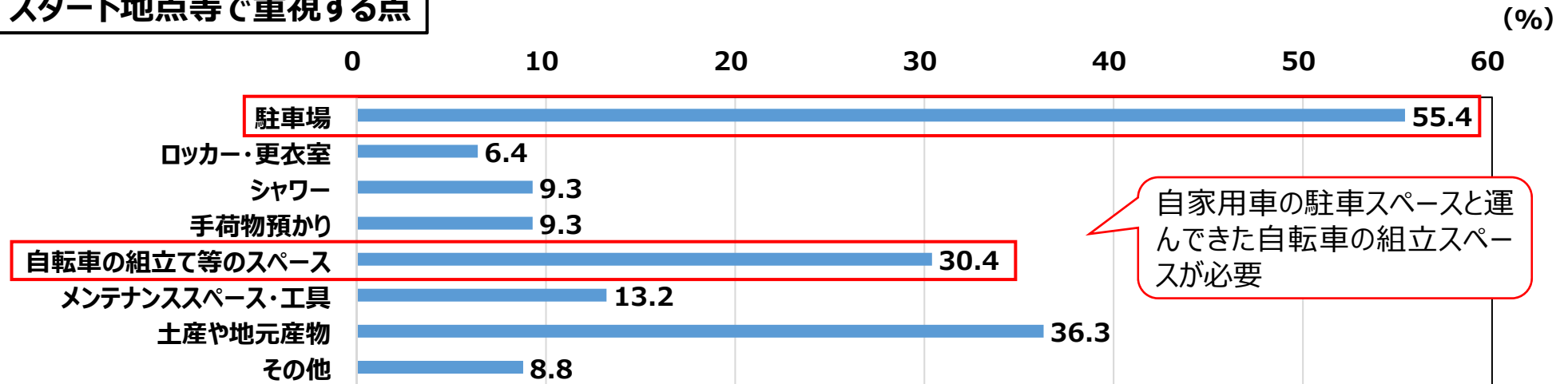


ルート表示で重視する点

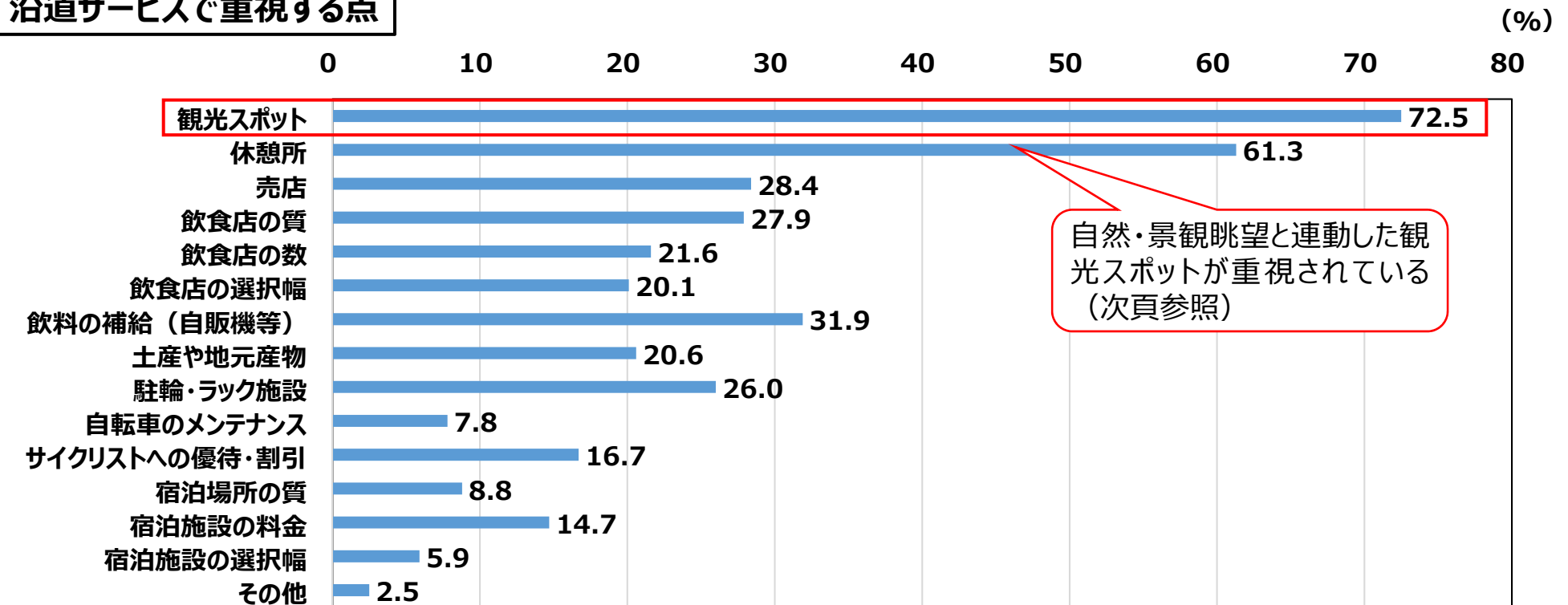


アンケート調査結果 ～サイクリングで重視すること～

スタート地点等で重視する点

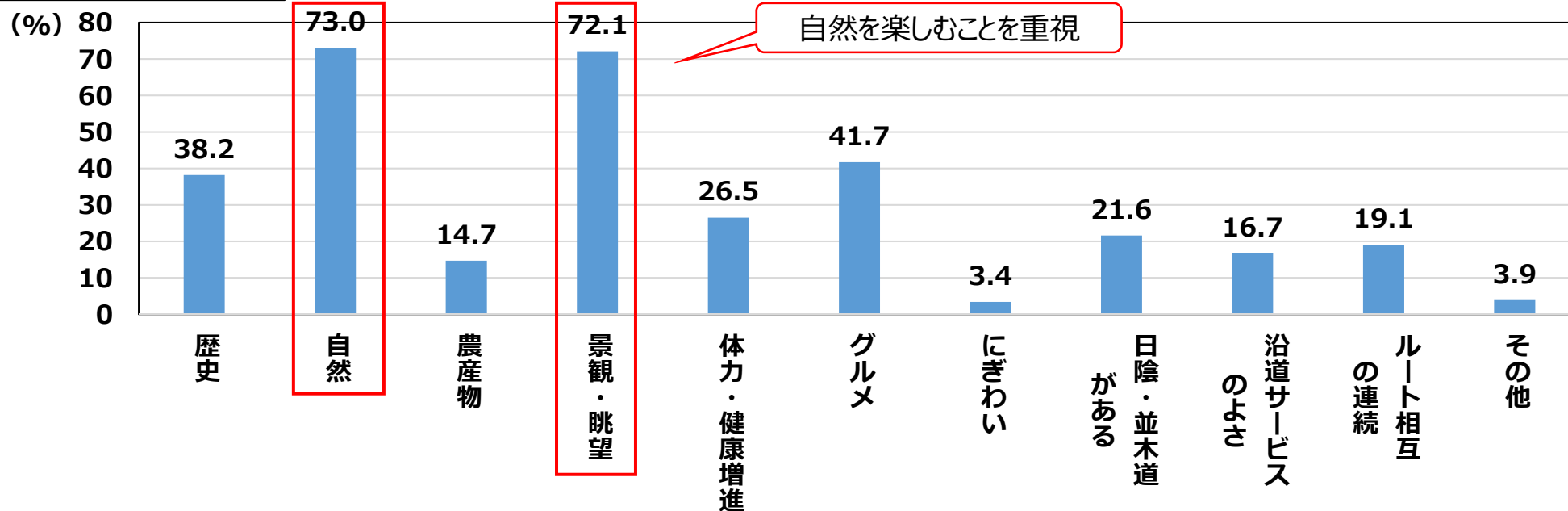


沿道サービスで重視する点

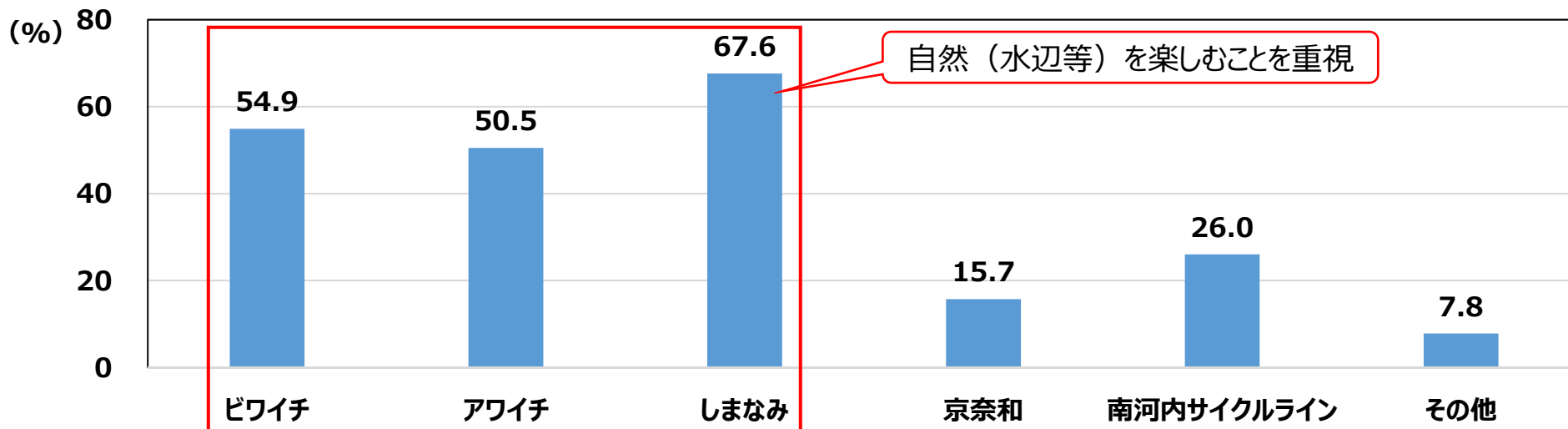


アンケート調査結果 ～サイクリングで重視すること～

ルートに求めるもの

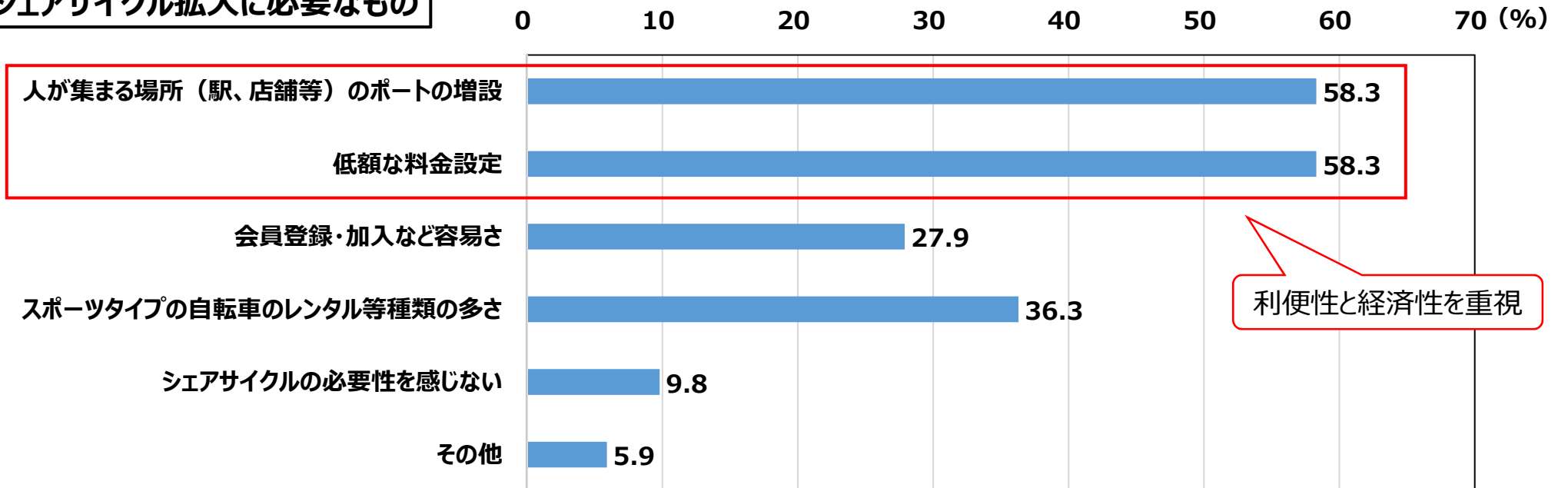


魅力的なルート

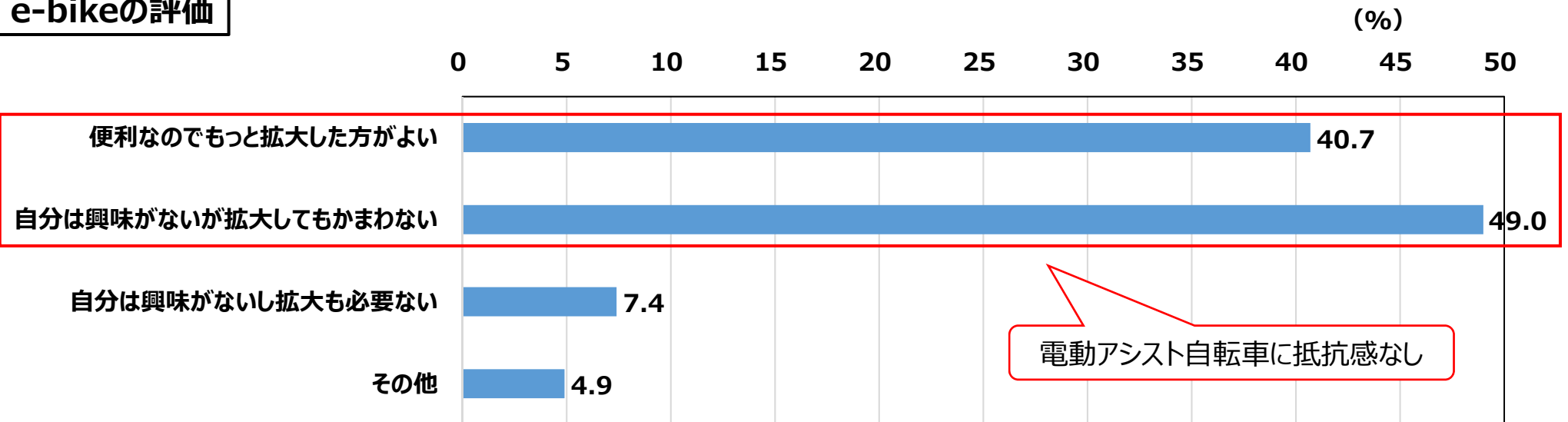


アンケート調査結果 ～その他～

シェアサイクル拡大に必要なもの



e-bikeの評価



令和2年度 広域サイクルルート連携事業（社会実験）のまとめ

◆社会実験実施に対する評価について

- 肯定的な意見が9割以上であることから、今後もテーマを変えて継続することが必要。
- 認知手段として大阪府広報媒体が最も多く、また、約6割が日ごろから情報発信を行っていることから、これらを組み合わせることで、さらなる発信に期待できる。

◆大阪東部サイクリングマップについて

- 「もっと作成すべき」の意見が最も多く、併せてWEBによる情報発信に対する要望が多かったことから、マップとWEB両方の充実が必要。
- マップ掲載ルートについては、景色や歴史・名所等の観光地が高く評価されており、また、快適性や安全性の重視に併せて、分かりやすさも重視されていることから、これらを考慮したルート設定の必要とともに、走行環境の充実が必要。

◆利用実態調査結果について

- 立寄り回数が約6回で、使用金額は約1,500円となっているが、家族やサークルでのサイクリングで使用する金額が大きかったため、積極的に家族などのグループでのサイクリングを促進するための工夫（魅力づくり）をすることで、さらなる経済効果と滞在型のサイクリングが期待できる。
- サイクリング地点への移動について、若年層は、鉄道（輪行）が多く、年齢層が高くなるにつれて自家用車の割合が高くなる。また、スタート地点では、駐車場や自転車の組立等のスペースが重視されており、ニーズに対応することで、サイクリストの増加が期待できる。
- シェアサイクルやe-bikeのニーズの高まりと合わせたコース設定や沿道サービスも充実させることで、気軽に誰もがサイクリングを楽しめ、利用の幅の広がりが期待できる。